

住民企画・参加による「福祉音楽祭」の実施

特定非営利活動法人バリアフリー総合研究所

理事 永田 宏典

1 はじめに

平成 18 年 7 月に、過疎化が深刻な社会問題となっている石川県の能登半島最北端にある珠洲市に、初めて出来た芸術拠点施設、多目的ホール「ラポルトすず」が新築オープンした。

本事業は、①同市のまちづくり整備事業の一環として建てられたこの施設への支援として。②社会参加・厚生を目的に活動している障害のある方や高齢者の自己表現を披露する舞台提供として。③またそのようなパフォーマンスを地元住民の方々が観賞・体感する事で街のバリアフリー化の啓発や促進として。そしてこのような活動が④県中心都市部からではなく、地方都市から発信する事を事業趣旨として実施した。

2 事業背景

本事業は、前年度に「珠洲まちづくりプロジェクト会議」という他の事業とともに活動した、地元珠洲市のボランティア団体「フォーラムふるさと塾」との継続共同活動として、「珠洲ユニバーサル福祉音楽祭開催実行委員会（以下、実行委員会という）」を編成し実施した。

（珠洲市多目的ホール「ラポルトすず」）



3 実行委員会の活動

実行委員会では、音楽祭開催の具現化に向けて以下の活動に取り組んだ。

■音楽祭名称の選定

実行委員会内で提案された多数の福祉音楽祭の名称候補から協議の結果、「珠洲ユニバーサル福祉音楽祭-たんぽぽのコンサート-」（以下、音楽祭という）とした。

■音楽祭としての目標

前述の事業趣旨を具現化するために、開催場所の石川県珠洲市の多目的ホール「ラポルトすず」に会場提供をお願いし、音楽祭の目標として以下の事項を位置づけ、活動指針及びプログラムに掲載する事とした。

- 障害のある方自らの芸術的表現を行う場を提供する事により、社会参加の促進をはかりたい。
- 障害のある人ない人、老若男女、全ての人に、ともに音楽祭を楽しんでもらう事により福祉への理解とたくさんの人々との交流を深めるきっかけとなる場を提供したい。
- 運営について広く住民の方々に参加協力してもらい、地方の芸術・福祉発展に寄与したい。

■出演者依頼（具体的内容は後述）

石川県内で活動している障害のある方や福祉活動をされている個人・団体を任意に選定し、出演を依頼した。

■後援依頼

地方発信の観点から石川県、珠洲市、珠洲市教育委員会、珠洲市社会福祉協議会に。広報的な観点から株式会社北國新聞社、北陸放送株式会社にそれぞれ後援を依頼しご承諾を得た。

また、地元珠洲市から、市長にプログラムに祝辞掲載と当日の祝辞挨拶を賜ることとなった。

■広報活動

以下の広報活動を実施した。

- ポスターを製作(A3 サイズ 50 枚、A4 サイズ 500 枚)し、珠洲市役所広報や地元珠洲市商店街等に配布。
- 後援をして頂いた株式会社北国新聞に取材記事、同じく北陸放送株式会社に取材放送をして頂いた。
- 開催会場のラポルトすずのホームページに開催情報を掲載。
- また、インターネットの福祉サイトに広告掲載。

■広告依頼

資金援助の目的でプログラム広告を求め、22 の団体・企業・個人から協賛広告を頂いた。

■ユニバーサル環境への取り組み

「ユニバーサル音楽祭」という観点から、出演者にも来場者にとっても、なるべくユニバーサルな環境を整備するべく以下7つの配慮を試みた。

①施設設備の活用。

「ラポルトすず」に配備されている、車椅子対応席(4 席)
音声補助機器(10 台)の活用。

②手話通訳者・盲ろう通訳者の手配。

③手話がわからない聴覚障害の方や高齢者の方向けに、
ステージ後方に大型スクリーンを配備して、進行順や
出演者及び演目内容紹介、歌詞等のガイド。

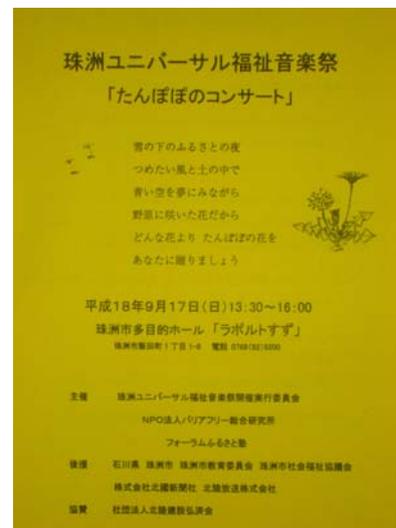
④また、視覚障害の方には支援スタッフから大型スクリー
ン内容の個別説明。

⑤その他、不都合やお手伝いを要望される方向けに、駐車
場やホール等の各コーナーに支援スタッフの配備。

⑥来場者に配布するプログラムの表紙を、弱視の方向け
に輝度差があるようなデザイン配色。

⑦また、全盲の方向けに点字プログラムの配備。

(黄色下地に黒文字配色のプログラム表紙)



■アンケート調査の実施

音楽祭評価及び今後の活動の参考材料として、来場者の方々にアンケート調査のご協力を頂く事とした。

4 開催内容

以下に、開催実施内容を記す。

■開催日時:平成 18 年 9 月 17 日(日) 13:30~16:00

■会場:多目的ホール「ラポルトすず」 石川県珠洲市飯田町 1 丁目 1-8 電話 0766(82)8200

■主催:珠洲ユニバーサル福祉音楽祭実行委員会

■後援:石川県 珠洲市 珠洲市教育委員会 珠洲市社会福祉協議会
株式会社北国新聞社 北陸放送株式会社

■協賛:社団法人北陸建設弘済会

■入場料:無料 ■観客席 538 席(うち車椅子席 4 席) ■来場者数 300 人弱(プログラム配布数より推定)

■出演者紹介及び音楽祭実施内容

以下に、ご出演して頂いた方々と音楽祭実施内容を紹介します。

(珠洲市長祝辞挨拶・手話通訳・スクリーンガイド風景)



●開催宣言

主催者側より音楽祭の開催宣言・開催趣旨・開催目的をアナウンス。

その後、祝辞挨拶を珠洲市長から賜り、いよいよ音楽祭が始まった。

(レイジバンドさんのステージ)

●レイジバンド(RUGTIM WITH ケイヤ&レイジ)

先天性障害のため一度も歩くことなく車椅子生活の小学2年生のレイジ君(ドラム担当)と、小学5年生の兄ケイヤ君に、お父さんのバンドグループRUGTIM(ラグタイム)がフォロー参加して、本音楽祭のオープニングをロックミュージックで飾って戴いた。



(森田社中さんのステージ)



●森田社中

日頃、病院や老人施設、児童施設等で、ボランティア活動をされている森田社中の皆さんに、竹と糸の絶妙なバランスの妙技の古典芸能「南京玉すだれ」を、コミカルなかけ声に会場いっぱいの手拍子が加わり、変幻自在の見立芸を披露して戴いた。

(石川県立七尾養護学校珠洲分校さんのステージ)

●石川県立七尾養護学校 珠洲分校

地元からの出演者として、石川県立七尾養護学校珠洲分校の生徒の皆さんが、美咲からの風「和太鼓・よさこいソーラン」と題しまして、迫力ある和太鼓演奏と、力いっぱいのよさこいソーランを演舞して戴いた。



(石川盲ろう者友の会さんのステージ)



●石川盲ろう者友の会

視覚と聴覚の両方に障害がある 3 人の盲ろう者による和太鼓演奏。見えない太鼓、聞こえない音を、健常者の会員の協力を得ながら体感で培った練習の成果を、披露して戴いた。

(オクターヴさんのステージ)



●OCTAVE(オクターヴ)

ゴスペルコーラスユニット。メンバーの 1 人が「石川盲ろう者友の会」と知り合い、同会の手話振り付けのテーマソング製作にあたり作詞協力及び作曲を担当。ステージでは聖なるゴスペルソングのプロの歌声を披露して戴いた。

●フィナーレ

OCTAVE さんのステージ途中から、石川盲ろう者友の会の皆さんに参加して戴いた後、即興で来場者の方々に手話振り付けを覚えて頂き、会場全体で手話振り付けソングを合唱しフィナーレを飾って戴いた。

(フィナーレ風景)



(主催者閉会挨拶)



5 アンケート結果内容

以下に、回答者全 113 人の結果内容を記す。(下段は回答者人数。)

■世代

10代	20代	30代	40代	50代	60代	その他
5	4	11	24	25	27	6

■性別

男性	女性
21	65

■障害

ある方	ない方
77	16

■お住まい

地元珠洲市	能登半島	金沢市及び近郊	石川県南部	他府県
54	13	40	7	2

■音楽祭開催情報取得

口こみ	珠洲市広報	ポスター	テレビ	新聞	ラポルト URL	ネット広報	その他
51	20	10	8	5	1	—	35

■良かったステージ

珠洲分校	森田社中	レイジバンド	オクターヴ	石川盲ろう者友の会	フィナーレ
67	65	58	54	52	50

■良かったサービス

手話通訳	スクリーンガイド	スタッフ支援	ラポルトの設備	難聴者用レシーバ	その他
70	56	43	31	12	5

■来年開催されたら来ますか

YES	NO	企画内容次第
76	—	33

■その場合の入場料は

500 円	無料	1000 円／300 円	その他
43	32	ともに 16	2

■コメント(抜粋)

皆さんの熱意がすごく良かった。私達が普段何をやっているのだろうと恥ずかしくなった。
無料で、暖かい気持ちになれたステージを観られて良かった。スタッフの苦勞が報われるような社会を望む。
開催に際していろいろな苦勞があったと思う。ありがとう。素晴らしいコンサートだった。
感動した。心臓手術で障害者となったが、前向きに生きようと勇気づけられた。
感動した。がんばって欲しい。毎日感謝の気持ちを改めて感じた。
とても良かった。またの開催に期待する。
関係者の方々にお世話になった。ありがとう。
石川盲ろう者友の会の和太鼓に感動した。
フィナーレ曲の CD を作って欲しい。
プログラムを有料にしてもかまわないと思った。
立派な建物なので、利用回数を多くして欲しい。
もっと沢山の参観者が来ればよかった。今度は誘って来たい。
宣伝をもっとして、沢山の人来て欲しい。涙が出るほど感動した。
珠洲市民に音楽祭開催を知らない人が多かった。珠洲の市民放送等で宣伝し声かけて欲しい。また協力もしたかった。

6 **むすびに**

反省すべき点は限りなくありました。それでも、実行委員会スタッフ、地元珠洲市民の皆さん、ラポルトスタッフ、後援して下さった方々、協賛広告を頂いた方々、広告を集めて下さった方々、各障害者団体の方々、なによりご来場頂いた皆様に、多くのご支援・ご協力を頂いて無事実行する事ができました事を、この場を借りて御礼申し上げます。

さて、障害のある方の音楽や芸術へのパフォーマンスを披露する場は、とかく公共の福祉イベントや所属福祉団体行事の余興になりがちです。たしかに、社会参加や厚生を目的としている為に、披露する場がそういった場になりがちですが、特設会場ではない設備が整ったステージ、そしてそこはまぎれもなく自分たちが主役、眩しいスポットライトを浴び、なにより観客の多くは家族でもなく関係者でもない見ず知らずの音楽や芸術の鑑賞目的に来た方々という、そんな緊張の場があることは、必要な事だと改めて実感致しました。

しかし結果的には、最初に掲げた事業趣旨も目的もほとんど達成できなく、ただただ出演して下さった方々の純粋なパフォーマンスに助けられ、逆に多くの感動を頂いた次第です。

出演者の方々に深く感謝申し上げるとともに、このような貴重な体験をする機会をくださった社団法人北陸建設弘済会に御礼申し上げ実施報告と致します。

以上